

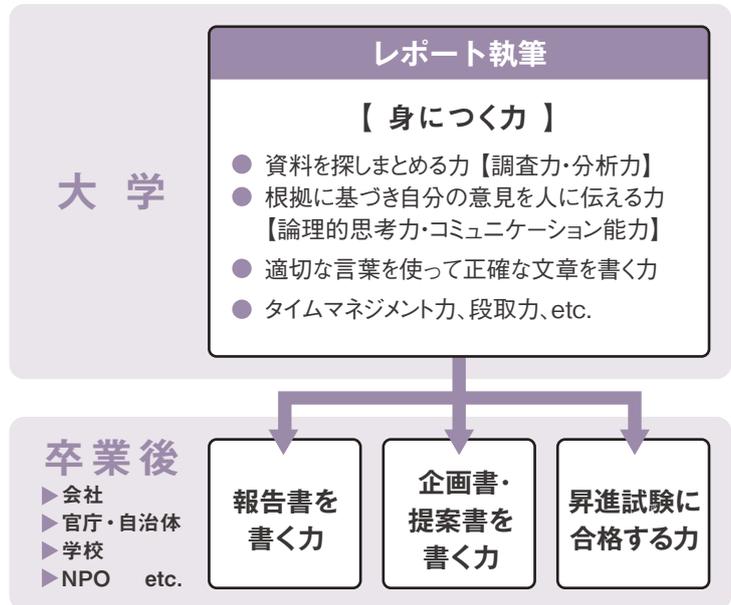
レポートを書くあなたへ

1 「書く力」は社会を生き抜く武器!

大学を出て社会人として活躍する上で、また、就職活動においても、「書く力」は必須のものです。文字を使って何かを伝えるということは、「話す」と同じように、大切なコミュニケーションの手段です。だからこそ、大学では書く訓練をします。それがレポートの執筆です。

一言で書く力といっても、レポート執筆によって身につく力は、右の図のように、さまざまな要素を含みます。

大学を卒業し、一旦仕事を始めれば、文章の書き方を教わる機会はほとんどありません。大学にいる今こそ、書く力を身につける最後のチャンスです。



2 いきなり書き始めない! レポート課題を吟味しよう

レポート課題を分類すると、代表的なものは以下の4つになります。レポート執筆で最初にすべきことは、あなたが書かなくてはならないレポートの種類がどれかを確認することです。

Master of Writingでは、1の自分で調べて考えて書くレポートを想定して解説を行っています。

1 自分で調べて考えて書くレポート

集めた資料を根拠として、自分の主張を論理的に述べる(論証する)レポートです。

2 整理・まとめ型のレポート

集めた資料や授業内容を整理・説明するレポートです。

3 ブックレポート

文献が指定され、その要約や、内容に対する意見等を述べるレポートです。指定文献をどの程度理解しているかが問われるという点で、理解確認型のレポートともいえます。

4 実験・実習・フィールドワーク等で得たデータをまとめて考察するレポート

では、あなたが書くレポートが上記の1だったとします。何から始めますか?

課題文の中にある言葉や頭に浮かんだ言葉を、いきなりインターネットで調べてもレポートは書けません。

まず、そのレポート課題が出題された意図や趣旨を考え、何を問われているのか、そして何を書けばいいのかをはっきりさせておくことが重要です。

通常、先生は授業内容と無関係にレポート課題を出したりはしません。「テーマの選択は自由」という場合も同じです。課題が出た授業で学んでいる内容と照らし合わせて、書くべき内容を考えてください。もしどうしても分からなければ、先生に直接質問しましょう。

